

小規模企業景気動向調査

[平成28年1月期調査]

～全業種で売上額が落ち込んだ小規模企業景況～

2016年2月23日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年1月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全業種で売上額が落ち込んだ小規模企業景況…◇

1月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅悪化となった。項目別に見ると、売上額DIは大幅悪化、採算及び資金繰りDIは多少の悪化となった。小売業をはじめ売上額DIの落ち込みが際立っており、経営指導員からは、不安定な天候が消費に悪影響を及ぼし、全体的に停滞しているなどの報告があった。

<製造業> ◇…中国経済減速の影響が広がりつつある製造業…◇

製造業の業況DIは、不変となった。項目別に見ると、売上額DIは大幅悪化、採算DIは小幅悪化、資金繰りDIは不変となった。経営指導員から、悪化材料として、①機械金属加工や精密機械関連で、中国経済の減速による影響が表れてきており、受注・売上が減少している、②水産加工関連で、需要はあるものの、漁獲量の減少により仕入値が上昇し、採算が合わなくなっているなどの報告があった。また、好転材料としては、原油安により、燃料費の負担が多少軽くなっているなどの報告があった。

<建設業> ◇…除雪業務の減少や公共工事の採算悪化により厳しい状況となった建設業…◇

建設業の業況DIは、大幅悪化となった。項目別に見ると、売上額DIは大幅悪化、採算及び資金繰りDIは小幅悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①土木関連で、例年に比べて除雪業務が少なく、売上が減少している、②公共工事関連で、受注はあるものの利幅が薄いため、資金繰りに影響が出ているなどの報告があった。また、好転材料としては、一部地域の水道工事業で、寒波到来により水道管の凍結が多発したため、一時的に売上が増加したなどの報告があった。

<小売業> ◇…天候不順の影響で衣料品や食料品の売上が大きく落ち込んだ小売業…◇

小売業の業況DIは、大幅悪化となった。項目別に見ると、売上額DIは11.5ptの大幅悪化、採算DIも大幅悪化、資金繰りDIは小幅悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①衣料品関連で、暖冬の影響が大きく、早々に在庫処分セールを実施しているが、売上が伸びない、②食料品関連で、突然の大雪や厳しい冷え込みにより、客足が遠のいたなどの報告があった。また、好転材料としては、一部の衣料品・耐久消費財関連で、寒い日が続いたことにより、ようやく売上が回復してきたなどの報告があった。

<サービス業> ◇…宿泊・観光関連でインバウンド需要による好影響も見られたサービス業…◇

サービス業の業況DIは、わずかに改善となった。項目別に見ると、売上額DIは大幅悪化、採算及び資金繰りDIは不変となった。経営指導員から、好転材料として、宿泊・観光関連で、中国などからの観光客の増加により、業況が上向いているなどの報告があった。また、悪化材料としては、クリーニング業で、自宅で洗濯可能な素材が増えたことにより、利用者が減少しているなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 12.7	▲ 19.8	▲ 7.1	▲ 5.8	▲ 12.0	▲ 6.2	▲ 10.9	▲ 16.1	▲ 5.2
採算	▲ 18.2	▲ 20.8	▲ 2.6	▲ 12.9	▲ 15.9	▲ 3.0	▲ 18.8	▲ 21.4	▲ 2.6
資金繰り	▲ 15.4	▲ 16.8	▲ 1.4	▲ 12.0	▲ 12.3	▲ 0.3	▲ 16.2	▲ 19.3	▲ 3.1
業況	▲ 19.7	▲ 22.3	▲ 2.6	▲ 16.5	▲ 16.6	▲ 0.1	▲ 15.0	▲ 21.2	▲ 6.2

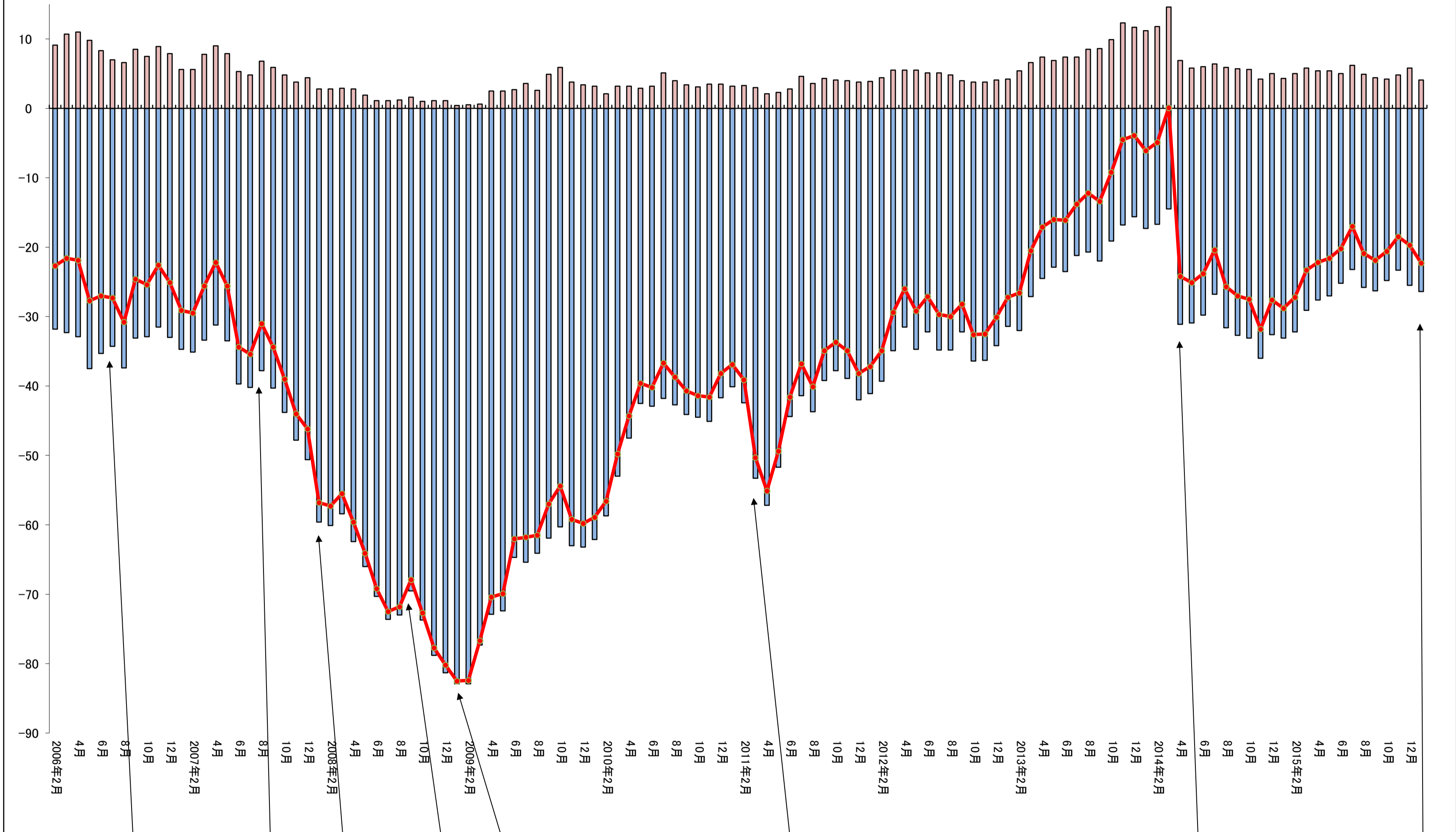
業種	小売業			サービス業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 20.5	▲ 32.0	▲ 11.5	▲ 13.8	▲ 19.0	▲ 5.2
採算	▲ 24.2	▲ 29.6	▲ 5.4	▲ 16.8	▲ 16.4	0.4
資金繰り	▲ 20.2	▲ 23.1	▲ 2.9	▲ 13.1	▲ 12.8	0.3
業況	▲ 27.4	▲ 32.7	▲ 5.3	▲ 20.0	▲ 18.8	1.2

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年7月14日
日銀ゼロ金利政策解除

07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引上げ

16年/1月
-22.3

小規模企業景気動向調査(1月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・地域の経済状況は相変わらず良くないが、ガソリン小売価格が100円を切ったことで運送業を始めとして良い状況となりつつある。
(大分県九重町商工会)

・地域全般としては融資相談件数も例年より穏やかな状況となっており、多少ではあるが資金繰りの改善がみられる。
(鳥取県米子日吉津商工会)

・製造業が依然として好調。他は事業規模により格差が出てきている。
(長野県佐久市望月商工会)

・降雪・積雪量が徐々に平年並みになってきており、建設業(除雪関連)や観光サービス業等、業況が持ち直してきている。しかしながら、これまでの雪不足による影響が残っており、資金繰りを中心に厳しい状況が続く。
(秋田県由利本荘市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・今年は雪もあまり降らず、比較的暖かいため、除雪用品、長靴、手袋等や衣料などの季節商品や鍋用食材などの動きが悪い。建設業も除雪特需がなく、収入減。
(福井県坂井市商工会)

・客単価が減少傾向にあり小売店の売上も減少傾向にある。
(広島県宮島町商工会)

・景気が良くなっている報告はあるけど、零細企業にまでは恩恵があるとは思えない。消費者は安価なものに流れている。
(岡山県浅口商工会)

・全業種共に大きな動きはないが、景気の停滞感、不況感は相変わらず強いものがある。また小規模事業者持続化補助金についての相談(申請に向けて)がかなり増えてきている。
(静岡県蒲原商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・燃料費が下がる分、経費削減になって助かっているという声があった。
(大分県佐伯市番匠商工会)

・自動車関連の機械金属製造業において、生産性向上のための設備の更新を実施した。
(島根県雲南市商工会)

・円高が続いているが、今のところ売上等に影響はなく順調に利益を出している。
(福岡県小竹町商工会)

・繊維関連の製造業は、日本での製造が増えており若干受注が増加している。
(秋田県湯上市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・金属機械、精密機械、電子部品製造業等は、中国経済の減速により受注は30%程減少しております。
(山形県南陽市商工会)

・コマツ関連の下請け企業は中国経済失速の影響で、仕事量は少なく、売り上げが減少している。
(石川県能美市商工会)

・水産加工物は、北陸新幹線開業に伴い人気が高いが、漁獲量の減少により仕入れ値が上がり、期待したほどの利益は出ていない。
(富山県射水市商工会)

・精密部品関連の製造業では、納品先の在庫保有を抑えるために1月2月と製造がストップされているため資金繰りが厳しくなっている。
(千葉県袖ヶ浦市商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・降雪凍結のため、水道工事業が一時的に売上高アップとなっている。
(長崎県松浦市福鷹商工会)

・少しずつ公共事業が出つつある。
(愛媛県上島町商工会)

・土木工事関連の建設業は、降雪が多いため除雪作業で一息ついている。
(青森県市浦商工会)

・一般住宅施工の需要は好況が続いている。ただ、坪単価はまだ高い水準である。
(岩手県大槌商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・公共事業関連は、受注は多いものの利幅が取れず、資金繰りにやや影響が出ている状況が散見される。民間関係は、ほぼ横這いで状況に変化なし。

(山形県上山市商工会)

・降雪が少なく、除雪等での売上が激減しており、資金繰りが悪化している。

(兵庫県香美町商工会)

・公共工事依存型の建設業は、受注単価の減少により利益確保が難しくなっている。

(佐賀県唐津東商工会)

・年度末には例年公共工事が増加するが、人や資材が足りていないので、受注したい仕事を請けられなくなってる。

(東京都羽村市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・衣料品関連の小売業は、暖冬の影響が続いていたが、一時期寒い日があり、冬物の売れ行きが少しではあるが回復した。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・年があけて寒さが厳しくなり、冬物衣料の売上げが伸びた。食料品関係では、県連のアンテナショップに出店し効果があったとの声があった。

(静岡県大須賀町商工会)

・寒波襲来のため、冬商材が好調であった。

(愛媛県保内町商工会)

・プレミアム付商品券の利用が終了したが、暖冬的好影響もあり来客数の落ち込みはほとんど見られない。

(秋田県白神八峰商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・温暖化により冬物衣料は早々に見切りバーゲンに踏み切る事業所が多く、売上げ、利益率共に悪化している。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

・食料品小売業は、月の後半は強い寒気の影響で寒い日が多く、顧客の中心である近隣の高齢者が外出を控えたため売上が減少した。

(岡山県備前東商工会)

・大雪を伴った暴風や高波による空路・海路の便が欠航となり、物資の輸送がストップし売上額が減少した。

(長崎県壱岐市商工会)

・衣料関連の小売業は暖冬の影響で、商品ラインナップ(仕入れ)に失敗し、景況感は悪い。

(新潟県小国町商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・中国・台湾からの観光客の波が筑前町にも波及している。近隣のビジネスホテル等も近隣アジア諸国の宿泊客が微増している。この影響で当町における旅行観光業の業況が若干ながら上向いている。

(福岡県筑前町商工会)

・宿泊関連のサービス業は、雪が少なく、都市部から車で来るお客さんが増えている。

(群馬県中之条町商工会)

・補助金を活用してインバウンド対策を行った旅館が何件かあった。

(島根県まつえ北商工会)

・宿泊業は、冬期閑散期の為売上は厳しいが、温泉施設は重油価格下落の影響で経費大幅減と好影響。

(北海道小平町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・クリーニング業については、燃料価格の減少により若干の好転を期待したが、暖冬の影響により、季節衣料の利用頻度が減少し売上が伸びない。理・美容業については大きな変化はない。

(愛知県長久手市商工会)

・クリーニング業は、大型コイン式洗濯店の台頭により、若年者の客離れが目立ってきている。一時溶剤等が高騰して利益を圧迫していたが、現在は売り上げそのものが減少してきている。

(鹿児島県日置市商工会)

・飲食業においては最近仕入れ価格が上昇する等、経営環境の悪化が徐々に進行しているとの事。消費増税について懸念しているとの事。

(宮城県栗原南部商工会)

・理・美容関連のサービス業で、競合店舗が新たに出店した影響で売上を減らしている事業所がある。

(東京都調布市商工会)

小規模企業景気動向調査【付帯調査】

『下請小規模企業における最近の取引状況について』

2016年2月23日
全国商工会連合会

<調査概要>

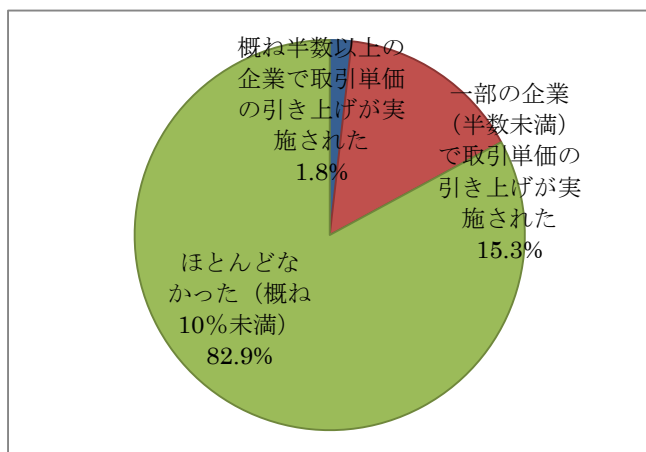
調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年1月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<調査結果>

1. 取引単価の引き上げについて



地区内の下請小規模企業のうち、親企業との取引単価が1年前に比べて引き上げられた企業はどれくらいあるかを聞いたところ、「ほとんどなかった（概ね10%未満）」が最も多く82.9%であった。

2. 特徴的な事例・動きについて

- 親会社の景気がいくら良くなっても、一度下げられた単価が上げられることはまずない。地方の中小零細企業は、コストダウン等様々な経営努力をしているが、業績回復にはほど遠く、現状維持をしていくのが精一杯である。（製造業／自動車部品）
- 受注単価の再見積をさせられ、引き上げというより引き下げという感じである。（製造業／機械金属部品加工）
- 小ロット短納期が多くなっている。量産ものがほとんどなくなっている。（製造業／電子部品）
- 親会社が安く受注し、下請会社にも安く受けるよう指示される。手間のかかる仕事であるが、コストアップを要求してもいつも安くされてしまう。（製造業／ニット）
- 親会社からの要望は聞き入れるしかなく、取引単価も据置、万年人手不足で納期に追われている。（製造業／車載用電装部品）
- 特徴的なものはないが、値下げ圧力は常にある。（建設業／一般建築工事）
- 消費税増額分は、概ね適正に転嫁されている。税抜き請負額は、一部、人件費の上昇による価格転嫁が見られる。しかし、元請に対する発注単価がもっと上昇しなければ、下請単価も大きくは変わらないと思う。（建設業／内装・塗装・設備）
- 取引単価を少し上げていただき、取引銀行から追加融資を受けることができた。（製造業／魚介類食品）